

タイ研修団「社会変革のためのリーダー・プロジェクト」来館 報告
(兵庫県立大学 野津教授の関わるプロジェクト)

日 時：2014年5月30日(金) 12:30~16:30 (日本滞在4日目)
参加者:行政部門、自治体、研究者、NGO、NPO から構成
46名(男性9名、女性37名)

主な参加者所属団体

(国) 女性・家族局
(国) 障害者福祉促進部
(国) 住宅局
(国) 社会開発・人間安全保障省(厚生労働省)
コミュニティ開発研究所
障害者社会復帰センター
児童・青年・障害者・高齢者の福祉推進部
(県) 厚生労働省事務局
(バンコク) ワンストップ危機管理センター
(NPO) 人身取引防止事務局、
(NPO) ホームレス・シェルター
(NPO) 禁酒ネットワーク、
(NPO) 子どもの人権基金
タマサート大学社会行政学部 など

プロジェクトの目的(2年間)

- (1) リーダーシップの向上: ビジョン、学習能力向上、マネージメント技能、自己啓発
- (2) ネットワークの構築: 社会開発事業のための異なるセクター間のネットワーキング
- (3) 社会イノベーションの促進: 社会・公共コミュニケーションと社会福祉・社会開発のためのシステム開発

プロジェクトの助成元

社会開発・人間安全保障省(厚生労働省)とタイ健康増進財団

- フードコートで昼食
- まちスポ神戸の見学、概要説明
- コミュニティルームにて、大和リースとNPOが協働運営している「まちスポ」についての説明、質疑応答

(BRANCH 神戸学園都市支配人の中埜さん、向山)

*質問内容

- ・ 講座の内容は誰が決めているのか。
- ・ 子育て支援でママのリフレッシュの場があることは素敵だけれど、そのママたちは支援されるだけでなく何か活動をしているのか。
- ・ 行政や大学との連携についてどのようなことをしているのか。
- ・ 企業の社会貢献について 等

タイでのCSRと言うとお金を寄付して終り。大和リースのように運営に関わり、NPOと共に地域の課題解決に取り組んでいることに感銘を受けたとのコメントをいただいた

